



夏がやってきましたが、みなさん夏バテしていませんか？今年も、日本国内節電モード！うちわ片手に日本語学習されているところも多いのではないのでしょうか。夏と言えば、七夕、祭、花火大会！さあ、日本の夏を楽しんでいきましょう。

日本語教室だより 「まずは日本語」

今月は「まずは日本語」の活動紹介です。昨年開講した「とりあえず日本語」のメンバーがALT（英語指導助手）より日本語学習の要望を受け入れ、同年9月から毎週火曜日に活動を開始。この日の外国人参加者は12名。ALTを中心に、留学生・研究生・高校生が参加。国籍は、オーストラリア・アメリカ・中国・フィリピン・イタリア・スコットランド・南アフリカ。一対一、小グループに分かれて活動されていました。

★ 朱さん&前川さん

中国(ハルビン)出身の朱大永(しゅ だいゆう)さんは現在高校一年生。お母さんの勧めでこの教室に通い始めました。日本の高校生活に早く馴染めるようにと毎週一生懸命日本語を勉強されています。

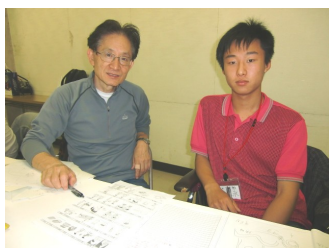
この日はメンバーの前川さんと一対一で「い形容詞」の練習からスタート。高校で使用しているプリントや日本語テキストなどを使いながら日本語で質問に答えたり、おしゃべりへと発展していきます。会話の口火となるのは前川さん。おしゃべりの中にうまく「い形容詞」を交えて質問し、朱さんは学習した言葉を実際に使ってみることで自分のものにしていく様子でした。

朱さんの将来の夢は？

介護士になってお年寄りのお世話をしたいです。

前川さんから一言！

厳しく、そして一緒に楽しく勉強していこう！ (左から前川・朱)



★ 高さん&二ノさん

高文天(こう ぶんてん)さんは西日本工業大学に通う留学生。来日して8か月、大学では建築を学び、勉強とアルバイト(中華料理店)の両立で忙しい日々を送っているそうです。大学の先生に「まずは日本語」を紹介されたのがきっかけで通い始め、今では日本語でのおしゃべりを楽しみに来ているとのこと。この日の話し相手は、昨年から日本語ボランティアを始められた二ノさん。久しぶりにペアを組まれたそうで、「以前より日本語がうまくなっていたので驚きました♪」と微笑む二ノさん。高さんのノートにはおしゃべりの中に出てきた日本語がたくさん書き込まれていました。

今日の感想は？

お互いの近況報告から話のテーマがどんどん移り変わって1時間半過ぎるのがあつという間でした～！

(左から高・二ノ)



★ セーラさん&ニッキーさん&大谷さん

アメリカ出身のセーラさん、フィリピン出身のニッキーさんは、現在ALT(英語指導助手)をされています。この日は、「～てください。～ないでください。～てもいいですか。～たいです。」などの文型を使った練習をされていました。二人のノートには学習した日本語がたくさん書かれ、熱心な様子です。セーラさんは、もともと知り合いだった大谷さんの紹介がきっかけでこの教室に参加。来日前は、アメリカの大学で留学生に英語を教えていたそうです。将来の目標を聞いてみると、「日本の大学で英語を教えたいです。」と答えてくれました。ニッキーさんは、一年前から小学生に英語を教えています。インターネットのHPで教室の事を知り、参加。日本語が話せるようになってもっと小学生とコミュニケーションをとりたいという目標があります。そしてこの日2人を担当されていたのは、「まずは日本語」代表の大谷さんです。

どんな教室ですか？

学習目標がはっきりしていてテキストを持参したりと熱心な方が多いです。私達も参加者のニーズに応じていけるよう頑張っています！(左:大谷・セーラ・ニッキー)



★ ジャスティンさん&ともみさん

アメリカ出身のジャスティンさんは10か月前から中学校でALTをされています。この日は「日本語能力試験N3」を勉強されていました。漢字は自分で自宅学習し、ここでは主に文法や語彙を学習しているそうです。隣で学習の手助けをされているのがともみさん。通信講座で日本語教育を勉強され、将来は日本語教師になるのが目標だそうです。ここでは学習者を相手に実際に教えることが体験できて勉強になると話されました。

ジャスティンさんの趣味は？

和太鼓！週2回、小倉で日本人に交じって稽古をしています！

(写真 ジャスティン)



★ 教室インフォメーション【まずは日本語】

- 生涯学習総合センター（小倉北区大門一丁目6-43）
- 火曜日 18:30～20:00
- 参加費 一回100円 ●ボランティア募集中！
- 問い合わせ 大谷（おおたに） t_ikumin@hotmail.com
- 池田（いけだ） 080-2721-5216



にほんごコラム ～多言語共存?～



数年前から設置されている某企業の新しい自動販売機。

その側面にこんなコトバが付けられているのをご存知でしょうか。「ecoる」。

「ecoる」は、環境にやさしいという意味の和製英語eco(エコ)に、接尾辞の「る」を付けることで動詞化したことばです。

まさに英語と日本語が共存し独自の文字社会を作り上げているようですね。

「ecoる」の他にも、既存の語を組み合わせで作られた動詞「外国語+る」は日常的に使用されています。

例えば・・・「メモる」 memo(英)+る → メモをする

「コピる」 copy(英)+る → コピーする

「ダブルる」 double(英)+る → 2重になる・重複する

「デコる」 decoration(英)+る → 装飾する・飾り付ける

「ハモる」 harmony(英)+る → 合唱する・「和声」を動詞化した意味

「さぼる(サボる)」 sabotage(フランス語)の sabo +る → 怠ける・怠る・ずる休みする

など。普段何気に使ったり聞いたりしている方も多いのではないのでしょうか。そして、最近では「固有名詞+る」も珍しくなくなってきました。例えば、「スタバる」 スターバックスコーヒー +る

「マクる」 マクドナルド +る

「ググる」 Google(インターネット上での検索サイト) +る

「メタ(ボ)る」 メタボリック症候群 +る

など。いつの時代も日本語の使い方は変化していると言われてはいますが、特に最近では、メールやツイッターなどインターネット関連の普及と関係が大きいようです。コトバ一つとっても異文化体験。同じ「日本語」を話す日本人同士でも世代や地域性などからさまざまな「違い」に「出会う」ことがあります。今まで見逃していたおもしろいコトバや価値観に多々気づかされる今日この頃です。



相談コーナー

このコーナーでは、地域日本語教室活動に関わる悩みや質問を共有し、活動をふりかえるきっかけとして事例を紹介します。

■外国人(Cさん・24歳)から受けた相談■

こんにちは。私はCと申します。

来日してもうすぐ1年経つんですが、日本人とは「こんにちは」や「ありがとう」などのあいさつ程度の交流しかする機会がありません。日本人ともっと日本語で会話するチャンスがほしかったので、近くの公民館の日本語教室に通い始めました。日本人のボランティアさんは、とても親切でいろんなことを教えてくれます。

でも、困っていることがあって…。

わたしが「日本語の会話の練習がしたい」とお願いしたので、日本語教室では、主にボランティアさんとマンツーマンで話をしています。でも、そのボランティアさんがずっとしゃべっていて、わたしはいつもあいづちをうつばかり。私が話す練習はほとんどできません。それに、話している内容があまりおもしろくないので、日本語教室に行くのもだんだんいやになってきました。

そして先週、教室を休んだら、そのボランティアさんから「どうして来なかったの?」と電話がかかってきました。ボランティアさんは、とてもいい人ですが、教室にはもう通いたくないです。

また電話がかかってきたら、どうすればいいでしょうか。



■悩みの背景■

日本人ボランティアさんが熱心に話をしていて、外国人の方はじっと黙って聞いているということがよくあります。日本語の先生が、学習者に文法や語彙の説明などをする場合には、当然の光景かもしれませんが、このケースでのポイントは、Cさんは自分が日本語で話をしたくて教室に通っているということ。

Cさんとマンツーマンで組んでいるボランティアさんは、Cさんに日本語の語彙をたくさん覚えてもらおうという思いが強すぎて、ついつい自分が話すすぎてしまっていたようです。

このようなケースは、日本全国いろんな教室でよく生じているようです。「外国人の方が真剣に自分の話を聞いてくれたから、理解してもらえた(成功した)」と空回りしてしまったり、中には、外国人学習者を自分の外国語会話の練習台にしてしまったりするボランティアさんもいるとか。

みなさんも、対話中心の活動をする際には、自分だけが楽しいおしゃべりになってしまわないように、ときどき仲間と振り返ってみるといいかもしれませんね。

*「対話中心の活動」については、裏ページ「今月のおすすめ図書」をぜひ参考にしてください。

今月のおすすめ図書

日本語ボランティア向け

- ◆タイトル
『外国人と対話しよう！ にほんごボランティア手帖 すぐに使える活動ネタ集』
- ◆編著 米瀬治子
◆著 吉田聖子
◆出版 凡人社
◆定価 1,470円(税込)
◆発売年 2011年
◆リソースコーナー 747B(赤)



日本語学習者向け

- ◆タイトル
「わたしのにほんご ～初級から話せるわたしの気持ち・わたしの考え～」
- ◆著 杉浦千里
小野寺志津
ボイクマン聡子
◆出版 くろしお出版
◆定価 1,890円(税込)
◆発売年 2011年
◆リソースコーナー 727K(緑) 英中韓の翻訳付き！



～子どもとおやのにほんごひろばからのお知らせ～

わくわくにほんごひろば 参加者募集！

“わくわくにほんごひろば”は、日本語のレベルを気にせずに誰もが参加できるイベントです。今年の夏は、みんなで竹を切って、そうめん流しをします。

日時：8月14日(日) 10:00～15:30
場所：小倉南区母原
(9:50に小倉駅北口集合)
参加費：大人500円／小中学生200円／6歳以下無料
定員：15名
応募締切：8月9日(火)
対象：外国人の子どもとその家族、外国人市民、国際結婚家庭など。

夏休みにほんごひろば 参加者募集！

“夏休みにほんごひろば”は、「夏休み中に日本語をがんばりたい」「夏休みの宿題が分からない」という外国の子ども達を応援します。みんなで勉強したり、ゲームをしたり、楽しい4日間です。子どもと一緒に勉強したいお父さん・お母さんも大歓迎です。

日時：8月2日(火)～5日(金)
場所：こくらインフォメーション
(小倉北区浅野3-8-1 AIMビル2階)
参加費：無料
申し込み：参加希望日の前日まで。
対象：外国人の子どもとその家族。

申し込み・お問合せは、いずれも北九州国際交流協会 佐々木 まで。
電話)093-662-0055 FAX)093-662-6622 メール)k.sasaki@kitaq-koryu.jp
「にほんごひろば」では、日本に住む外国人の方、特に子ども達がより快適に、より楽しく暮らせるように、色々なイベントを行っています。みなさんの教室の外国人の方に是非お知らせください！よろしくおねがいします。

北九州国際交流協会からのお知らせ



「日本語通信」のバックナンバーは、(財)北九州国際交流協会のホームページ「市内の日本語学校・教室」からご覧いただけます。北九州市内の日本語教室リスト(日本語・英語・中国語・韓国語版)もご覧ください。
http://www.kitaq-koryu.jp/jp_new/



リソース会員募集のお知らせ
国際村交流センター3階のラウンジには、日本語を教えている方々専用の教材や、日本語教育に関する情報を集めたリソースコーナーがあります。会員登録をして頂くと、1ヶ月5冊まで貸し出しが可能です。ご希望の方は、住所のわかる身分証をお持ちください。



あなたの教室を記事にしてみませんか？

普段の教室風景やイベントなどを日本語通信で紹介してみませんか？記事を書きたい方は、氏名・団体名・記事にしたい活動内容・ご連絡先(電話/FAX番号/メールアドレス)をご記入のうえ、メールかFAXにて担当までご連絡ください。